

授業科目名	脳神経医学I		単位	2単位
科目責任者	あいざわ ひでのり 相澤 秀紀	所属	神経生物学 (内線 5115)	
		メール	haizawa@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義 (講義補助用プリント配布) ・ 演習			
概要	医師となるために必要な脳神経の基盤医学的知識の習得に向けて、解剖学・生理学・薬理学などの専門分野にわたる神経系の構造と機能を横断的に学習する。			
講義ユニットの到達目標	履修生は以下の項目について説明出来ることを目標とする。 1) 脳神経系の理解に向けた基盤医学概論 2) 脳神経医学の理解に向けた臨床医学概論 3) 神経系序論 ― 体壁と内臓 4) 神経系の生い立ち 5) 感覚系と運動系 6) 静止膜電位 7) 活動電位 8) シナプス後電位 9) 神経伝達物質 10) 神経回路の信号伝達 11) 脊髄神経総論 12) 脳神経系総論 13) 自律神経系総論 14) 中枢神経系の形態 (大脳・視床) 15) 中枢神経系の形態 (小脳・脳幹)			
講義日程	別紙日程表を参照のこと (1年次 第4ターム 金曜日 午前中 (12月1日より))			
出席の取り扱い	講義について ; 出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 講義の出席が3分の2に満たない学生については試験を受けられない。 実習について ; 実習の欠席は、原則として認めない。			
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)			
評価法	講義の終了後に筆記試験を行う。評価は筆記試験の結果を中心として、授業後の小テストや実習における提出レポート、講義への参加態度などを踏まえて総合的に評価する。			
履修上の注意 アドバイス	神経系という共通したシステムに対して、解剖学や生理学など異なったアプローチで理解を進めるため、各回の講義で得られる知識をよく整理して学習する。			
推奨参考書	人体の正常構造と機能 (第2版 全10巻縮刷版、日本医事新報)			